医療法人 芙蓉会 広報誌

みなみん

第8号
2016年 11月発行

みなみんは地域の皆様とご一緒にできるかぎり元気で、
たとえ人の助けが必要になっても安心して住み続けることができる
まちづくりの知恵を出し合っていきたいと思います。

ルリビタキの雄。九州では秋冬に見ることができます。故宮山昇様が撮影されました。宮山様の鳥の写真は何度もみなみんの表紙を飾ってくれました。

発行：医療法人 芙蓉会

■ 筑紫南ヶ丘病院
■ 南ヶ丘訪問看護ステーションききょう
■ ケアプランサービス「南ヶ丘」
■ メディカルケア南ヶ丘

医療法人 芙蓉会 ☎ 092-595-0595
HP http://www.minamigaoka.jp/
〒816-0971 福岡県大野城市大字牛頸 1034-5

筑紫南ヶ丘病院でクリック！ 筑紫南ヶ丘病院 検索

芙蓉会職員のおしゃべりタイム

パパイヤの成長日記

自宅アパートの庭でパパイヤを育てています。今年2月に種を植えて、約8ヶ月で高さ2m超まで成長しました。先月に花が咲き実もなりました。この実がどこまで大きくなるのか楽しみです。

（4F Y.Kさん）

マイレシピ My Recipe

“冬のおすすめ料理”♪

のっけちゃってトースト3種盛り

材料
- 食パン（6枚切り）…3枚
- ピザ用チーズ…適量
- もみのり……適量
- しめじ……適量
- キムチ……適量
- しらす……適量
- マヨネーズ…適量
- 焼き肉のたれ…適量

作り方
どれもトッピングしてレンジでチンです。
しめじは焼き肉のたれで炒めてトッピングする！

簡単炊き込みごはん

材料
- 塩こんぶ……1袋
- お米……3合
- なめ茸……1ビン

作り方
お米3合を普通に炊くときのように炊飯器にセットする。これに塩こんぶとなめ茸を入れ、軽く混ぜ炊飯スイッチON!

3F　T.Oさん

私の一押し！

AND FLOWERS.itai

ほんの近くに、こんなお洒落な花屋さん！

紫台のビルの一階に素敵な花屋さんを見つけました。白い綿シャツがピッタリの爽やか店長さん。ジャズが流れる店内ではアレンジ教室も開催しています。「もっと花が楽しくなるお花屋さん」が目標だそうです。ぜひ立ち寄ってみてくださいね！

（コメディカル N.Sさん）

AND FLOWERS.itai《アンドフラワーズイタイ》
住所：福岡県大野城市紫台15-1 / 電話番号：092-558-0730

改装と職員の工夫とで潤いのある空間を作っていきます。

ナースステーションが改装され働き易くなりました。加えて各職員の工夫が潤いを生み出しています。5Fの「遊ビリ」で季節の野菜果物のスケッチを試みたところ、瑞々しい力作が出来上がり介護職員さんも驚いたそうです。

（看護部長 三好富士子）

健康教室スケジュール（11月～12月）

どなたでもお気軽にご参加ください！（要予約）

11月16日(水) ◎14:30～15:40	認知症予防の体操 ～おうちでカンタンリハビリ～
12月22日(木) ◎11:00～12:30	栄養サポート・ランチの会 栄養に関するお話とお食事会

《お申し込み・お問い合わせ》
筑紫南ヶ丘病院　連絡先：092-595-0595

地域に開かれた老人ホームを目指して!

メディカルケア南ヶ丘では、地域の方々のアドバイスを受けながら、地域とのかかわりのある施設を目指して試みを続けています。

施設の夏祭りには、「日向ひょっとこ踊り月の浦愛好会」の方々に来ていただき、そのユニークな動きに笑いがこぼれました。入居者の皆様からも拍手喝采でした。有難うございました。

敬老会では、「南ん子太鼓」の子どもたちの叩く音に元気が湧いてきました。涙を流される入居者様もいて、来ていただいて本当に良かったなあと思いました。

入居者様の絵画や書の作品を、施設内での展示だけでなく南コミの文化祭に出品してはどうかとのお声掛けもいただきました。

また、近くのゲートボール場の利用者さんにトイレを使っていただいたり、コミュニティホールをお貸ししたりもしています。(要予約。無料)

福岡市西区の特別養護老人ホームでは、地元のPTAや教師のOBと協力して、夏休みにコミュニティスペースを開放し、勉強スペースや昼食の提供を行っているところもあるそうです。

今後もセキュリティーには配慮しつつ、地域の方々にも立ち寄って頂ける施設を目指して可能性を探っていこうと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

南ヶ丘病院グループ広め隊

総合リハビリ科 離床プロジェクト

“秋の活動”紹介

病院内の生活の中でも、季節を感じてもらおうと季節に応じて離床活動を提供させて頂いております。

例えば

○紅葉狩り‥‥模造紙に描いた枝に、落ち葉(折り紙)や拾ってきたドングリ等を貼ります

○栗拾い‥‥‥病院裏には大きな栗の木があります。カゴや軍手を持って拾います

○運動会‥‥‥集団活動として玉入れなどを2チームに分かれて、競い合います

○貼り絵‥‥‥9月は『お月見』、10月は『ハロウィン』を作成してもらいました

○健康教室参加‥‥‥地域の方が参加されている当院の健康教室に、入院されている方々も参加されています

今回紹介させていただいた活動は、ほんの一部ですので、ご興味のある方は病院に来院された際に、お気軽にリハビリ室を覗きに来てください。

南地区のコミュニティに学び隊レポート

第三回南コミまつりは大盛況

南コミ運営委員会の底力結集！ 頭と体を使って限られた予算で 子どもたちが楽しめるお祭りを！

永野事務局長。大きな優しさを感じます。

この日は、南コミのキャラクター「みなリンちゃん」のお披露目。賀来理事長も笑顔が弾けます。司会の大迫さんのお洋服はお母さまの手作り。

9月24日(土)南コミュニティセンターで開催された「第三回南コミまつり」にお邪魔しました。

驚いたのは人出の多さ、それも子どもさんや若い人たちの多いことです。

焼き鳥、炭火焼き、カレー、おでん。香ばしい匂いが漂ってきてもうたまりません。あっ、ビールも。みんな家族連れで歩いて来られています。テーブルやいすが沢山置いてあって、あちこちで盛り上がっています。本当に楽しそう!

子どもさんが100円で参加できる「ストラックアウト」「バルーンアート」「ヨーヨー釣り」には長い列ができています。見事景品をゲットして得意そうな男の子も。

フリーマーケットには若い女性やお母さんたちの人だかり。売る方も買う方も、満足そうです。

ステージも盛況で、懐かしいグループサウンドや美しい女性たち、いえ女装の男性陣など盛り沢山。笑いが巻き起こります。

まだ3回目なのにこの盛り上がり様は何故?若い世代の参加がこんなに多いのはどうして?そこで南コミ運営委員会の永野事務局長が仕掛け人だとお聞きして、お話を伺ってきました。

従来は大文字祭りの前夜祭として、日頃の慰労も兼ねて委員さんたちで集まっていました。運営委員会の委員さんは皆さんボランティアで、仕事をリタイアされた方が多いのが現状です。永野さんは、もっと若い世代や子どもたちが楽しめる企画はないかと考えました。そこで、南コミまつりのプロジェクトを立ち上げ、少ない予算を生かすため知恵と労力をフルに使いました。

「この地域が大好き」という気持ちを次世代に繋げたいという永野さんはじめ運営委員会の手作りのこのお祭り。子どもたちのゲームの景品も、昨年の1500個から2000個に増やしましたが足りず、来年はもう少し沢山用意する予定です。

会場の周りにはこの地域の小学5年生のそれぞれの夢を書いた画用紙が張り巡らされてあります。地域みんなで子どもたちを育んでいきたいという気持ちが伝わる南コミまつり。来年が待ち遠しいです。

リレー連載

地明人(ちめいじん)⑥ 地いきを明るくする人

子どもたちと自然との架け橋として走り回る

旭ヶ丘の小湊正憲(こみなとまさのり)さん

夏休みも終わりに近い大野城市役所前広場。恒例となった「夏休みネイチャークラフト」は大盛況です。竹のケン玉作りのコーナーでは、小湊さんに手を添えてもらいながら小刀や電動ドリルを恐る恐る使う子どもたち。真剣なワクワク感が伝わってきます。「おおのじょう森のトラスト協会」の主力メンバーとして、この他にも春・夏の牛頸川での「水の生きものさがし」や、冬の「バードウォッチング&冬芽の観察」など、子どもたちが自然に触れ合う機会を作る活動をされています。また、「筑紫植物友の会」の会長として、百余名の会員さんと共に県内の植生を楽しみながら調べておられます。鳥、草花、森、離島。自然への興味は尽きることがありません。

長年、福岡市内の女子高で化学を教えておられました。生活指導にも携わり生徒と正面から向き合う日々。気にかかる生徒は顧問をしておられた理科部に誘い、フィールドワークに連れ出しました。自然の力を借りて生徒の心をほぐしてきた気がしています。一生懸命語りたいことを沢山お持ちの小湊さん。少年の心で海山を駆け巡るお忙しい日々は続きます。

▲子どもたちの真剣な表情は宝物。

◀「筑紫植物友の会」の例会で、小倉港から35分の藍島へ。「葉のつき方で見分けます。」何をお聞きしても即答して下さる頼もしさ。

次回は 緑ヶ丘の豊永蘭子さん にご登場いただきます。